

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () () は厳密にする。

質問番号 273	地図番号 071 013	(A) 普通注記	ページ
項目名 ヒガシ		(B) 除いた共通語	/
		(C) 除いた特殊語	()

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
3753.88	ヒカシ (「シ」は、まり)	
4619.98	至 <i>ɸi</i> (唇の音は、わすか)	
4639.10	hi (厳密には <i>ɸi</i> = 共通語のヒ)	
4686.96	<i>ɸigaʃi</i> (至 <i>i</i> に近い感じ)	
4687.01	<i>ɸigaʃi</i>	
4700.37	<i>ɸeiŋasü</i> (<i>siŋasü</i> の如く聞こえることあり)	
4725.68	<i>ʃiŋaʃi</i> (東京のシによく似た音である。 東京のシに対応するものは、 [sü] ~ [si] /su/ である)	
4725.92	<i>eiŋaʃi</i> (頭音はシとまちがひそうて)	

4639.69 hi (左記は簡略表記。
より正確には *ɸi*)

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 273	地図番号 071 013	(A) 普通注記	ページ
項目名 ヒカシ		(B 除いた共通語)	(2)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	あ、た。りの継続が長く、おに 前の母音のときに鼻音が感じ られた。)	
4726.80	eiŋasi (語頭のヒは東京などのシに 似た音、ただし語尾のシと は、は、きりちからた音。)	
4734.20	eiŋasi 頭音はヒとシの中間音。た だし、最後の音(シとス)の中 間音とはは、きり区別がある。	
4744.32	eiŋasi (頭音はヒとシの間にきこえ	

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉()〔 〕は縦書きにする。

質問番号 273	地図番号 571 013	A 普通注記	ページ
項目名 ヒカシ		〔B 除いた共通語〕	3
		〔C 除いた特殊語〕	()

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	又、最後の音はシとヌの間の音)	
4746.20	ɕinaɕi (頭音はやや〔ɕ〕がかかっても きこえた。)	
4760.54	ʃhi (唇を見ると唇音化されているこ とが分かる程度。)	
4760.98	ɕiɕinaɕi 1回、ɕi~となった。	
4761.57	ɕinaɕiɕi <自然に言う時>	
5602.99	ɕinaɕi <普通の人にはɕinaɕiと言う>	ɕinaɕi
5623.42	ɕinaɕi <ɕinaɕiという人が多く>	
5657.53	ɕinaɕi 自由会話で ɕeroi (たゝ)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 273	地図番号 571 013	① 普通注記	ページ
項目名 ヒカヅシ		〔B 除いた共通語〕	(4)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	と言った。(TOK 入)	
5684.11	ſinaſi (話しことはでは徹底目的 ſinaſiと変る) ſinaſi	
5689.10.	hepaſi hebaſi bo (火箸) ſibaſi (火釜) ſiko:ki (飛行機) ſite: (客員) ſitotsu (一フ)	
5698.69	ſinaſi (話者は /hi/ と意識。/si/	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () () は厳密にする。

質問番号 273	地図番号 071 013	① 普通注記	ページ (5)
項目名 ヒガシ		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	ひまひ.)	
5710.29	siŋaʃi <普通これを使う>	
5712.17	siŋaʃi (普通これを言う)	
5713.65	siŋaʃi <これを自然に使う>	
5714.10	siŋaʃi <普通これを使う>	
5790.64	heŋaʃi (sibatʃi (火鉢) ʃitai (額))	
6485.46	ヒガシ (74ヒケのヒと同じである。)	
6542.71	siŋaʃi 9カ	
6581.68	ヒガシ	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は厳密にする。

質問番号 273	地図番号 011 013	① 普通注記	ページ (7)
項目名 ヒカマシ		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6569.12	ɕigaʃi . 東風は kotʃi:kaze	
6583.45	ɕigaʃi <また [kotʃi]ともい。>	
6583.93	ɕigaʃi ɕはあまりは、きりしまいときもあ。	
6620.49	hiŋaʃi	
6657.96	ɕiɣaʃi 母音が少しあゐ	
6697.59	heɣaʃi <古>	ɕigaʃi
7302.66	ɕigaʃi	
7302.71	ɕigaʃi	
7303.38	ɕigaʃi	
7313.68	ɕigaʃi (ŋaɾɔ)	

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉()〔 〕は敬密にする。

質問番号 273	地図番号 81/ 013	① 普通注記	ページ
項目名 ヒガシ		〔B 除いた共通語〕	(8)
		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 或した語形とその注〕
7320.95	<u>ɕiga</u> ʃi	
7324.24	<u>ɕiga</u> ʃi 下線上, ʃiに近し	
7324.96	<u>ɕiga</u> ʃi	
7332.27	<u>ɕiga</u> ʃi	
7332.52	<u>ɕiga</u> ʃi	
7338.48	hi [~] gaʃi	
7342.10	<u>ɕiga</u> ʃi 前の波線は si [~] ナ 後の波線は, ri [~] ナ	
7372.03	higaʃi (ɕiでは又, hiに近う弱音, 口蓋化も又uに近う。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () [] は微密にする。

質問番号 273	地図番号 011 013	A 普通注記	ページ
項目名 ヒカマシ		[B 除いた共通語]	(9)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7374.15	ɕigaɕi → (hi=近いɕi) [hi]か。 higaɕi	
7382.93	higaɕi (hiは軽u口蓋化 hiに近い軽u音。)	
7383.98	higaɕi (ɕigaɕi ほと~にならぬ 軽u音のhi~に近い音)	
7392.45	higaɕi _{in}	
7392.94	higaɕi	
7394.60	higaɕi	
7400.11	higaɕi	

▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の< >()〔 〕は厳密にする。

質問番号 273	地図番号 011 013	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (10)
項目名 ヒカマシ			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7403.86	higaʃi	
7411.27	higaʃi <アクセントは●○○, 周桑郡では○○○と云っている>	
7412.31	higaʃi	
7420.91	higaʃi	
7513.01	ʃigaʃi (ηの鼻音の程度は軽く, gの ときもある。)	
8302.19	higaʃi	
8302.55	ʃigaʃi (ʃiの子音は著しい口蓋化で はよく, hi, ʃiの中間音のよ	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 273	地図番号 011 013	① 普通注記	ページ
項目名 ヒガシ		〔B 除いた共通語〕	(//)
		〔C 除いた特殊語〕	(//)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	うに思われふ。)	
8303.70	ɕigaʃi hi, ɕi a 中間 (u) の弱口	
	hɕigaʃi 蓋化音。	
8303.84	higaʃi	
8305.76	ɕigaʃi	
0246.48	higaʃi 〈季介〉	agarui
0247.31	higaʃi 〈兼介〉	agarui
0256.76	higaʃi 〈子〉	agarui
0275.36	agare 〈古〉	ɕigaʃi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに写紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 273	地図番号 571 013	A 普通注記	ページ
項目名 ヒガシ		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(1)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4761.57	ɕinaʃi	ɕinasü <small>〈自然に言う時〉</small>
5804.28	ɕigaʃi <small>〈共〉</small>	hegaʃi
5710.29	ɕinaʃi <small>〈このようにも使える。〉</small>	ɕinaʃi <small>〈普通これを使う〉</small>
5712.17	ɕinaʃi <small>〈これも注意すると。使える。〉</small>	ɕinaʃi <small>〈普通これを言う〉</small>
5713.65	ɕinaʃi	ɕinaʃi <small>〈これを自然に使う。〉</small>
5714.10	ɕinaʃi	ɕinaʃi <small>〈普通これをを使う〉</small>
6421.79	ɕigaʃi <small>〈新〉</small>	Fügaʃi